

(幼保連携型認定こども園) みらい学園
令和6年度 自己評価

令和7年3月31日

基本方針	・園児一人ひとりの発達過程に配慮して教育と保育を行う。 ・園児一人ひとりの情緒と生きる力（非認知能力）の発達を支援する。 ・心と体の健やかな成長のために安心安全な環境の保持に努める。 ・様々なあそびと習慣づけにより卒園時までに育って欲しい姿に自然に近づく。
目標（目指す子ども像）	◎よく遊び、よく食べ、よく寝る子ども。 ◎集中できる子ども。 ◎身の回りのことができる子ども。 ◎主体的に考え活動できる子ども。

(評価) A：優 B：良 C：要検討 D：要改善

項目	内容	評価				取組状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育目標	教育・保育の基本方針や目標（目指す子ども像）は保護者や社会のニーズに即したものか。	○				教育・保育の基本方針や目指す子ども像について、職員向けには職員会議等で説明し、教育・保育計画の策定にそれらを反映するよう努めている。基本方針について関係者全員の共通理解を深めるため、継続した取組が必要である。
	教育・保育目標（目指す子ども像）について職員全員が正しく理解しているか。		○			
	指導計画は教育・保育目標（目指す子ども像）を適切に反映したものか。	○				
	年齢（クラス）別の指導計画は発達過程に配慮したものか。		○			
教育・保育内容	指導案に基づいて教育・保育を行っているか。	○				教育・保育の基本方針を指導案に適切に反映させる一方、それにより教育・保育内容が画一化、マンネリ化しないような工夫も必要である。指導案に縛られ過ぎず、園児一人ひとりの状況に応じて臨機応変に対応したい。
	指導案は実態に即して適宜修正・更新しているか。		○			
	教育・保育用具の使用は適切か。		○			
	一人ひとりの発達過程に配慮して教育・保育を行っているか。	○				
子育て支援	保護者に対して子育て相談の機会を設けているか。		○			保護者には連絡帳やメールを通じ密に情報提供を行っている。新型コロナウイルスの影響で控えていた保育参観を、今年度初めて実施することができた。保育参観の代替措置として始めた保育現場の写真提供（無償）については、次年度も継続する予定である。
	保護者に対して子育てに関する情報提供を行っているか。	○				
	地域の子育て世帯に対して相談・交流の場を設けているか。			○		
	医療機関や児童関連施設と連携して子育て支援に当たっているか。		○			
保健・衛生	清潔な保育環境の維持に努めているか。	○				関係機関に報告を要するような集団感染も、それに伴うクラス閉鎖もなく、新型コロナウイルスを含む感染症対策・対応は、概ね適切であったといえる。感染症対策としては、手洗い、うがい、換気、消毒等の基本的なことを徹底していくしかないと考えている。
	新型コロナウイルス等の感染症対策は適切か。		○			
	園と保護者の間で園児の健康状態に関する情報（定期健康診断含む）交換を行っているか。		○			
	定期健康診断等を通じて学校医と緊密に連携しているか。	○				
安全管理・防災	教育・保育中の事故予防に努めているか。			○		緊急搬送事例等の大きな事故こそなかったが、保護者に医療機関受診を勧めた事例が3件あった。事故防止に対する注意喚起を徹底して行う必要がある。避難訓練では、南海トラフ地震臨時情報が発表されたのを契機に、避難方法や避難経路、保護者への連絡等を再度確認した。
	教育・保育中の事故に対して適切に対処しているか。		○			
	避難訓練は月1回以上、総合訓練は年2回以上行っているか。	○				
	避難訓練等の内容は適切か。	○				
情報公開・外部評価	保護者への通知等は遅滞なく行っているか。	○				現在、保護者への連絡手段として、紙、メール、HP、写真等の種々の媒体を使っている。園の方針として、電子化のメリットが明らかに大きいと思われる部分については計画的に電子化を行い、紙でのやり取りを徐々に減らしていきたいと考えている。保護者アンケートは実施したが、外部の専門家による第三者評価の実施は検討中である。
	保護者が理解しやすいように通知方法等を工夫しているか。	○				
	保護者からの苦情等に対して迅速・丁寧に対応しているか。		○			
	外部評価を実施しているか。		○			